

平成30年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場 10月12日（金） 県立越谷総合技術高等学校

3 参加対象校 東部教育事務所管内公立中学校（94校）
管内市町に所在する県公立高等学校（39校）

4 主な内容

(1) 授業参観・施設見学

(2) 全体会

・ 情報提供1 県立学校部高校教育指導課から

「平成31年度埼玉県公立高等学校入学者選抜等について

・ 情報提供2 市町村支援部義務教育指導課から

「中学校から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導の現状と課題」

・ 情報提供3 全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会報告

(3) 分科会（グループ協議）

「中学校から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導・キャリア教育の現状と課題」

・ 中学校と高等学校が連携を密にした進路指導の取組

・ 上級学校訪問や高等学校による出前授業等を通じた中高連携の取組



5 参加者の感想から

(1) 授業参観・施設見学について

【成果】高等学校

- 一番に感じたことは、生徒が生き生きと学んでいたことである。将来を見据えて、自分のすべきことを理解していると思った。
- 中学校の先生にとって、高校を理解してもらおう意味では、非常に良かったと思う。今後も、専門学科のある高校で行うべきだと思う。
- 普通科の高校で行うことになる「探究」の授業にヒントが、今日行われていた「課題研究」の科目にあると感じた。

【成果】中学校

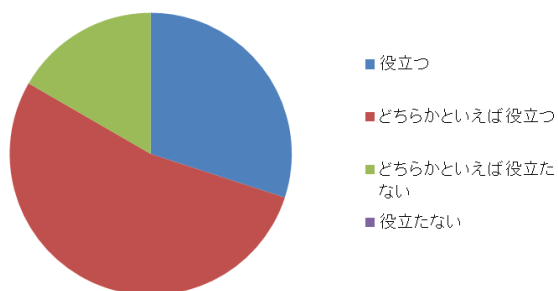
- とても貴重な機会であり大変興味深く、パンフレット等で見るとよりイメージや雰囲気を感じられた。教師が高校の授業などを頭に入れておくのは、三者面談等をする際に、説得力が出ると思う。
- 専門の勉強をしている生徒の様子を見て、改めて、好きなことや目標が明確なら、専門学科の学習はとてもよいと思った。体験入学や授業にもっと参加するよう促し、自分の道を見つけさせたいと思った。
- 進路選択に当たり、見学会、説明会、体験入学等に参加する必要性を感じた。

【課題】

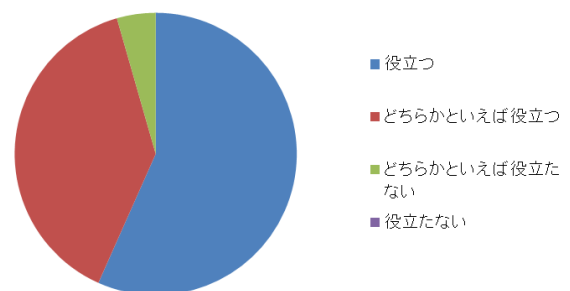
- 学校や学科について、事前に詳細な説明があると見学の際によりイメージしやすい。
- 毎年会場を変え、様々な学校が見られるようにするとよいと思う。
- 見学時間をもっと長いと、ゆっくり見られてよい。

(2) 全体会（情報提供）について

【高等学校】全体会の情報提供



【中学校】全体会の情報提供



【成果】高等学校

- 情報提供や研究協議を通じて、現状や課題を高校だけでなく、中学校についても詳しく知ることができた。課題を解決するための取組を学校で考えていきたい。
- キャリア教育についての情報提供はありがたかった。
- 校種を問わず、教員間、学校間での共通理解が必要であると思った。

【成果】中学校

- 新学習指導要領の説明の中で、「過去・現在・将来に轍をつなぐ工夫」が勉強になった。また、「聴く」「受け止める」など、人間関係形成もキャリア教育の重要なポイントであると学ぶことができた。
- 今年度初の進路指導主担当で、不安が多かったが、本日の協議会で、全体像やその先のビジョンが見えるようになった。
- 小中の連携はさほど難しくないが、様々な地域から集まる中高の連携は、高校側も情報を集めきれないと思った。その一つの方策としてキャリア・パスポートが今後示されるのではと思った。

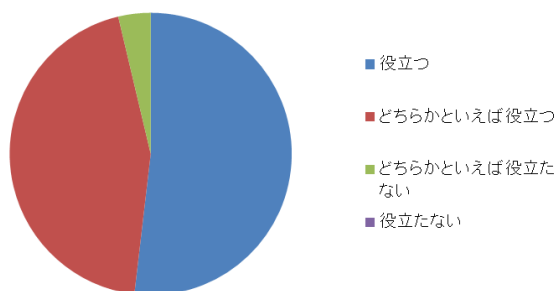


【課題】

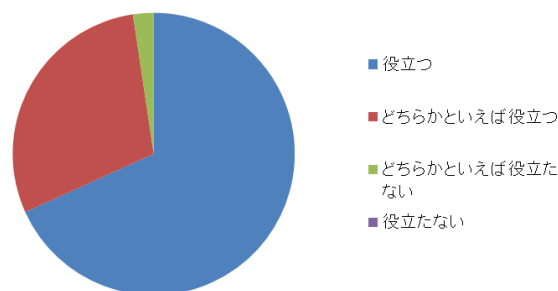
- 資料が詳細で素晴らしいものほど、情報量が多く、読むのも後回しになる。A4サイズ1枚くらいで、図や表を入れたまとまったリーフレットなどを用意してもらえると、全員が目を通しやすいつと感じる。
- 時間的には限度かもしれないが、キャリア教育指導者養成研修の報告をもう少し詳しく聞きたかった。
- 中学校教員が忙しいのは承知しているが高校へ出向いてほしいという話があった。しかしながら、授業の空き時間が全くない現状がある。ミスマッチを減らすことは大切であるが、何が可能で、何が効果的かを具体的に考えていかなければならないと思った。

(3) 分科会（グループ協議）について

【高等学校】分科会の研究協議



【中学校】分科会の研究協議



【成果】高等学校

- 研究協議は毎年、参考になる。中学校のことを知るのには高校にとってありがたい。そこから、顔見知りになり、今後も関わりを持っていけたらよい。
- 中学校から要望等を伺えたので、生徒募集や上級学校訪問等に役立てたい。
- 中学校の先生方の御苦勞が少し見えた。中学校の先生方も大変忙しい中で悩んでいる様子であったので、高校としてもできるだけ多くの生徒に直接届く働き方を心がけたいと思った。

【成果】中学校

- 近隣の中学校や高校の先生との協議で、様々な情報提供をいただき、今後、中学校でどのような進路指導をしたらよいか分かり、大変参考となりありがたかった。
- 高校の先生の話をつらんに聞いて、とても充実した時間となった。「不登校の生徒の進路指導」「学力の低い生徒ほど高校への進学意識が低い」など、協議で意見交換した内容について、改めて考えていかねばならないと思った。
- これから進路指導もより具体的かつ大切な時期となるので、学校へ戻り、他の教職員に情報提供したい。



【課題】

- 学期に1回程度、このような機会があれば、連携が密になり良いと思う。例えば長期休業中であれば、授業への影響もなく良いと思う。
- 話し合いが盛り上がり、十分な情報確認には少々時間不足であった。
- 毎回同じ地域の班編成なので、地域を越えた組み合わせもよいのではないか。
- テーマをもう少し絞り込んだ方が、より深い話ができると感じた。

(4) その他

- 私は専門学科の教員だが、このような機会を増やし、中学校の先生に授業を見ていただくのはよいと思う。
- 今回は、商業、家政、工業の分野の授業を見せていただいた。今後、このような機会に、農業系、福祉系など、他の学科の様子をみせていただけるとありがたい。
- 本校も商業科があるので、商業についてももう少し見られると参考になったと思った。
- 来年度から総合的な探究の時間が始まるので、専門高校で探究に代替できる科目を見たいと思った。
- 今回見学させていただき、他の専門学科のある高校についても、生徒と保護者だけが説明会に行くのではなく、教員も足を運んで実際に見ることが大切だと思った。
- 各授業で、担当の先生方が丁寧に説明くださり、ありがたかった。
- 入学してどう思っているかなど、生徒へのインタビューがあると、学校で学んでいることの大きな流れなどが見えると思った。
- 同じ学科でも1～3年と、段階的に学習していく姿をもっと見られるとよい。
- 勤務校からは、立地の関係で今回の会場校に進学する生徒がほとんどいないのが残念である。今後、東部管内の各地域で授業見学できる機会があるとよい。
- 専門学科に入学したものの、興味関心がなくなった生徒の指導はどのようにするのか知りたい。
- 普通科の授業も見てみたいと思った。
- 多くの中学校教員は普通科出身であり、専門学科を知らないなので、見るだけでなく、何か体験もできたらと思う。

